



広島大学



Creating the Future  
**SATAKE**



食料の量・質の担保と  
生物多様性維持の両立は可能か？

G7広島サミット & 広島大学75+75周年記念行事



# 食料安全保障 シンポジウム

Food Security  
Symposium

2023 **4.22** SAT  
14:00-16:30  
開場 / 13:30~

- 会場：サタケメモリアルホール（広島大学 東広島キャンパス）
- 対象：どなたでも参加できます。

事前登録制  
**参加無料**  
定員 / **500人**

主催

特別協賛

広島大学 株式会社サタケ

お問い合わせ

広島大学 未来共創科学研究本部 / 学術・社会連携室  
TEL.082-424-2057 / 4532 / 4482 E-Mail : husympo@hiroshima-u.ac.jp

シンポジウム参加のお申し込みは  
右記のQRコードより登録ください。

申込締切  
2023年4月15日 土



# 食料の量・質の担保と生物多様性維持の両立は可能か？

G7広島サミット& 広島大学75+75周年記念行事

## 食料安全保障シンポジウム



広島大学長 越智光夫

食料安全保障とは、すべての人が、いかなる時にも、活動的で健康的な生活に必要な食生活上のニーズと嗜好を満たすために、十分に安全かつ栄養ある食料を、物理的、社会的及び経済的にも収取可能であることです。この食料安全保障の危機は、世界的な人口増加などによる食料需要の増大だけでなく、食料貿易構造の変化によるサプライチェーンの混乱に加えて、気候変動による農作物の生産量低下などにより引き起こされています。食料増産と気候変動は密接な関係にあり、それらは環境破壊だけでなく多くの生物種の絶滅を引き起こすため、生物の多様性を維持できる条件下で、食料安全保障を実現することが、グローバルな社会の持続的な発展に必要となっています。そこで、本シンポジウムでは、グローバルな視点と日本の食料安全保障対策の観点から、①生物多様性を維持する農業、②生物多様性と質と量を確保する農業技術開発、③新たな食料資源の開発、④食料安全保障への取り組みについて考えるとともに、これらに貢献する広島大学の研究を紹介します。

### プログラム

【司会】理事・副学長 広島大学（教育・平和担当）

- 14:00~ 開会挨拶 ..... 越智光夫 広島大学長
- 14:05~ ビデオメッセージ
- 14:10~ 基調講演 ..... 日本の食料安全保障対策（仮題） 杉中淳 大臣官房総括審議官 農林水産省
- 14:30~ 事例報告 .....
- 1 生物多様性を維持する持続的な農業  
北島薫 教授（京都大学 農学研究所）  
熱帯林の生物多様性とグローバルな食料安全保障
  - 2 生物多様性と質と量を確保する農業技術開発  
吉崎悟朗 教授（東京海洋大学 海洋科学技術研究所）  
生殖幹細胞を使って魚を増やす：有用魚の増産と希少種の保全
  - 3 新たな食料資源の開発  
川島一公（株）インテグリカルチャー 取締役CTO  
環境コストの削減と食糧自給率の向上を実現する細胞性食品（培養肉）の開発
  - 4 食料安全保障への取り組み  
水野英則（株）サタケ 先行技術本部本部長  
食（米）の安全・安心と質・量を確保する技術
- 15:50~ 広島大学研究紹介 .....
- 光と熱環境で動物福祉と牛乳生産量を両立させる最新DX酪農技術  
杉野利久 教授（広島大学 大学院統合生命科学研究所）
  - 海底水自動揚水装置SPALOWによる牡蠣（カキ）増産  
小池一彦 教授（広島大学 大学院統合生命科学研究所）
  - 世界で広がる塩害問題～耐塩性イネを作る試み～  
上田晃弘 教授（広島大学 大学院統合生命科学研究所）
- 16:05~ パネルディスカッション ..... MC：島田昌之 教授（広島大学 大学院統合生命科学研究所）
- 16:20~ 閉会の挨拶 ..... 理事・副学長 広島大学（研究担当）



北島薫



吉崎悟朗



川島一公



水野英則



杉野利久



小池一彦



上田晃弘

主催：広島大学／特別協賛：株式会社サタケ

広島大学 未来共創科学研究本部／学術・社会連携室

TEL: 082-424-2057 / 4532 / 4482 E-mail: husympo@hiroshima-u.ac.jp